

### 科学技術振興機構「さくらサイエンスプラン(SSP)」

## SSC同窓会、クアラルンプールで初めて開催

### 過去5年間のSSP招へい実績

科学技術振興機構(JST)は2014年に「さくらサイエンスプラン」(SSP)事業をスタートし、2018年度末までの5年間で世界41カ国・地域から2万6000人以上を招へいしてきた。

マレーシアからは過去5年間で約1500人の優秀な若手理系人材を日本に招へいし、招へい者総数は、中国を筆頭に全体で5番目の規模となっている。

JSTでは、SSP事業を通じて生み出されるグローバルな人材ネットワークに大きな価値を見出し、そのネットワークを一層拡大かつ強化することを目指し、参加した主要国で現地におけるSSC同窓会(さくらサイエンスクラブ・SSC)の本格的な立ち上げを進めている。これまでに、インド(2018年10月)、スリランカ(今年2月)、ベトナム(同3月)等で本格的な現地同窓会を開催したが、今年10月10日にはクアラルンプールのパークロイヤルホテルにおいて、第1回マレーシアSSC同

窓会を開催した。

### SSC同窓会幹事会

同窓会の開催に先立ち、10日午後1時に、同窓生の中から同窓会幹事に立候補した11人が会場に集合し、主幹事(メインコーディネーター)の選出が行われた。同国教育



①同窓会前の幹事会での集合写真(前列中央が主幹事のシャキラさん)



②同窓会会場での参加者集合写真



⑦同疎開幹事団11名の挨拶と自己紹介



③沖村上席フェローの歓迎挨拶

同窓会にはマレーシア各地から出席したSSPによる訪日経験者(同窓生)を含めて総勢約100人が参加し盛大な同窓会となった。(写真②)

幹事に続き、第1回同窓会は午後3時から5時半までの2時間半で(第1部、第2部の二部構成)開催された。同窓会にはマレーシア各地から出席したSSPによる訪日経験者(同窓生)を含めて総勢約100人が参加し盛大な同窓会となった。(写真②)

第1回同窓会の開催

幹事に続き、第1回同窓会は午後3時から5時半までの2時間半で(第1部、第2部の二部構成)開催された。同窓会にはマレーシア各地から出席したSSPによる訪日経験者(同窓生)を含めて総勢約100人が参加し盛大な同窓会となった。(写真②)



⑧黒木副センター長

対象国・地域と日本との友好関係の強化と科学技術協力の進展のため、極めて重要であると確信している。



⑤サヌシ局長

アジアを中心とするSSPと、強力なネットワークを確立することが、



⑥アズラン国際局長補佐

現地同窓会を活性化し、同窓生メンバー相互にとってメリットのある強力なネットワークを確立することが、



④宮川在マレーシア日本国大使の挨拶

第2部は立食形式で行われ、マレーシアの全国各地から集まった、年齢も所属も専門分野もさまざまに異なる同窓生がネットワーキングを楽しみ、最後はJST中国総合研究・さくらサイエンスセンターの黒木慎一副センター長が閉会の挨拶で締めくくった。(写真⑧)

樹JST上席フェローの歓迎の挨拶で始まり、宮川眞喜雄在マレーシア日本国大使の挨拶に続いて、マレーシア側からは教育省のサヌシ国際局長とエネルギー科学技術環境気候変動省のアズラン国際局長補佐の2人が挨拶し、SSP事業への謝意と日馬関の重要性が強調された。(写真③④⑤⑥)ゲスト挨拶に続いて、当日紹介されたばかりの11人の幹事団メンバー全員が自己紹介した。(写真⑦)

第1部の最後にはSSP参加経験者の代表5人が日本で体験したことを身振り手振りで楽しそうに語り、同様の経験を持つ他の出席者も日本での体験を懐かしく思い出していた。